



三蔵五訓

真理を探求し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。

2019.3.20 Vol.159



祝 卒業

平成30年度	学位記授与式	学長式辞	1
平成30年度	学位記授与式	理事長挨拶	2
平成30年度	学位記授与式	在学生送辞	3
平成30年度	学位記授与式	卒業生答辞	3
平成30年度	学生表彰 (卒業生・修了生)		3

卒業おめでとう
ございます！



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

新しい時代を創る 気概を持って！



平成30年度 学位記授与式 学長式辞

学長 松田 文子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。団らすも皆さんは、平成最後の年の卒業生・修了生として、また、まだ名称はわかりませんが、新たな元号の年の初の社会人として巣立つことになりました。

在学中にはたくさんのこと学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと思います。それらを糧として、社会に出た皆さんのが大きく花開かれることをこころから期待しています。そして、ご臨席いただきておりますご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。ご家族の皆様の長きにわたる物心両面でのご支援に、教職員一同、こころから感謝申し上げるとともに、こうして若さと知力にあふれる若者約700人を新たに世に送り出すことができることをこころから喜び、誇りに思います。

卒業生・修了生の皆さんは、在学中には勉学を続け、本日卒業式を迎えることができたわけですが、それを誇りに思うと同時に、今日までの皆さんの勉学や生活を支えてくださった家族や仲間、そして社会の人々に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。昨年の夏には西日本豪雨により多くの方が亡くなられ、家屋や道路・鉄道などの被害も甚大でしたが、そうした中でも皆さんは勉学を続け、こうして無事卒業を迎えることができたのです。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りすると共に、これからは皆さんが社会に出て、社会を支える側になることをしっかりと自覚しましょう。1975年に開学した福山大学は、皆さんを含めてこれまでに約36,000人の卒業生を送り出してきました。卒業生は、備後地域を中心に全国の様々な地域でリーダーや中核となって社会を担っており、そこに皆さんも仲間入りするのです。卒業生は本学の宝であると同時に、社会は皆さんに大きな大きな期待を寄せています。

さて、その社会は現在、なかなか難しい問題をたくさん抱えています。国際的に見れば、民主主義の根底にあるべき寛容の精神が失われつつあるのではないかと危惧され、あちこちで

国と国、地域と地域の欲望がぶつかり合い、人々の分断が起こっています。また、幾何級数的に進歩するコンピュータ技術も人々に多様で多大な恩恵をもたらす一方で、将来の人間の仕事のありようへの不安も生み出し、さらにコンピュータウイルスやサイバーテロといった、新たなそして強大な脅威を人工的にもたらしてもいます。このグローバル社会においては、これらと無関係に日本の国が成り立つことも、私たち一人ひとりが社会人として生活することも不可能です。

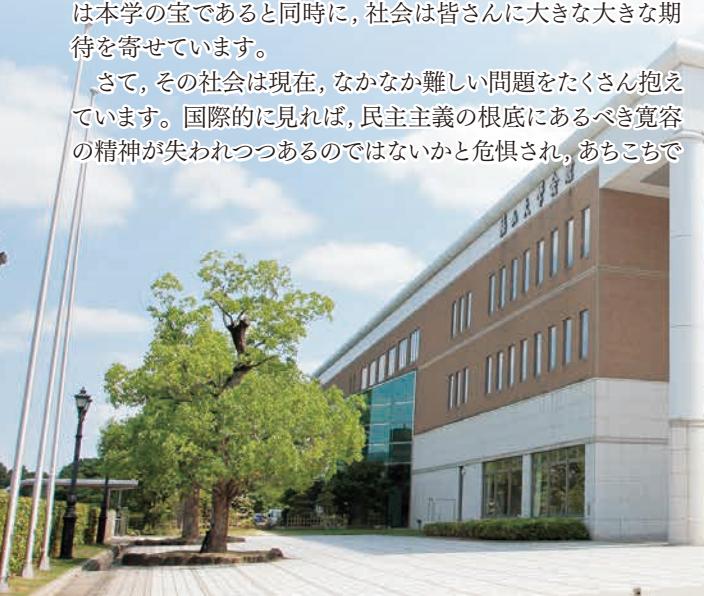
そして、さらに我が国は、少子超高齢化、人口減少の下でどのような持続可能な社会をどのように作っていくのかという、これまで経験したことのない、外国にも解決のモデルのない、新しいタイプの難問を突きつけられています。これから10年の間にも、生産年齢人口の減少と人工知能AIの発達により、働く環境や働き方、そしてそれらにまつわる解決すべき諸問題は増大かつ激変することが予想されます。

皆さんのがこれから支え作っていく社会は、このようになかなか先の見通しのつきにくいものであり、また困難の予想されるものではありますが、それだけに皆さんのが大学時代に学んで身につけた知識、技能、態度、それらを総合して発揮する人間力への期待も大きいのです。時代に流されるのではなく、是非時代を創っていただきたいと思います。

広く大学教育の成果として、今皆さんのが手にしている様々な能力と態度に支えられた自信と希望を心の糧として、社会に出てもそれぞれの場所で核となる人材となり、向かってくる困難に打ち勝って、その地域を支え、そこから世界に発信し、ローカルにもグローバルにも活躍していただければと、心から期待しています。

では、皆さんのがこれからご活躍を願って、もう一度「ご卒業おめでとうございます」と述べ、式辞を終わりとします。

平成31年3月20日



実社会に羽ばたいていく 皆さんへ



平成30年度 学位記授与式 理事長挨拶

学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の平成30年度福山大学学位記授与式にあたりご挨拶申し上げます。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席の保証人の皆様にも心からお慶び申し上げます。また、ご多用中にも拘わらずご臨席を賜りましたご来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。

卒業生・修了生の皆さんは、福山大学の教職員と師弟同窓の関係の下、在学期間中を有意義にお過ごしいただき、それぞれの目標に向かって日々精進され、本日を迎えたるものと思います。卒業生・修了生の皆さんは、明日より実社会に羽ばたかれることになりますが、現在の日本を取り巻く世界の社会情勢並びに経済情勢は、安全保障問題や自国優先主義が台頭し、大国間の貿易摩擦をはじめ、新興国不安の再燃が表面化するなど不透明感が漂っております。また、日本国内においては少子高齢化に見られる人口減少による生産年齢人口の減少問題・地域間格差の拡大、高齢化の進展による人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化への対応や気候変動によってもたらされる予想外の災害の発生など様々な問題が山積しております。卒業生・修了生の皆さんが、これらの諸問題を解決するためにも進展著しいAI・IOT・ビッグデータをはじめとする情報技術等を利活用し、地域社会をはじめ日本並びに世界の持続的な成長・発展のため、本学で培われた知識・技術、取得された資格等を活用され、活躍されることを期待しております。卒業生・修了生の皆さん、学校法人福山大学を創設された宮地茂先生が福山大学開学にあたって表明された、

建学の精神と教育理念の一体化を表した「三蔵五訓」には、(1)真理を探究し、道理を実践する。(2)豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。(3)生命を尊重し、自然を畏敬する。(4)個性を伸展し、紐帶性を培う。(5)未来を志向し、可能性に挑む。とあります。以上の教えを卒業後も胸に刻み、明日より実社会において、これまで以上に研鑽され、卒業生・修了生の皆さんそれが、より良き未来の創造を目指し、搖るぎなく前進されることを心より願っております。なお、卒業生・修了生の皆さん、本学には卒業生の組織である同窓会があります。同窓会は、卒業生同士の親睦を図るとともに在学生との絆を深めることを主な目的としており、全学同窓会連合会による連絡・調整の下、各学部同窓会には活発に活動いただいており、各地における支部活動も盛んになっております。願わくは、卒業後の皆さんが、本学で育んだ絆を大切にし、それぞれの地域で幅広い世代の同窓生との交流を重ねていただき、自らを発展させるための糧としてくださるようお願いいたします。そして、いつでも気軽にこのキャンパスに足を運び、恩師に元気な顔を見せていただければと思います。本学在学中に得た恩師・学友との絆はこれから的人生において貴重な宝であり、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝の気持ちとともに大切にしてくださいるようお願いさせていただき、ご挨拶といたします。本日は誠におめでとうございます。

平成31年3月20日



平成30年度 学位記授与式 在学生送辞



在学生総代
薬学部 薬学科

徳永 吏紀

桜のつぼみも膨らみはじめ、さわやかな風がそっと頬をなでていく気持ちのよい季節となりました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお慶び申し上げます。

皆様は福山大学に入学されてから今日までの間、たゆまぬ努力を重ねてこられ、学内外での様々な活動の中でご活躍されてきました。今日ここに学位記を手にされる喜びは、ひとしおのことと思われます。また、ご指導いただいた先生方、共に助け合い成長していった友人との思い出を振り返り、胸いっぱいにならでいることだと思います。

私たち在学生は、研究やサークル活動、学部・学科の行事などを通じて、先輩方から数多くのことを学びました。私は薬学部に在籍していますが、研究を行っている際、実験がうまくいかず困っていた時には親身になって相談に乗ってくださり、アドバイスをしていただきました。そして、病院・薬局での実務実習の際には、薬や病気に関する知識はもちろんのこと、患者さんとの接し方や医療現場における薬剤師の役割などに関しても多くのご助言をいただきました。私たちが日々努力し、一歩一歩歩

みを進めていくことができるのも先輩方の大きな背中を追い続けてきたからです。また、学びの内容や環境は異なりますが、経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部の在学生も同じように感じていると思います。私たち在学生一同は、先輩方のご指導に心から感謝し、後輩たちの良き手本となるよう日々精進してまいります。

さて、約30年間続いた平成の時代も残り数か月で終わりを迎え、新たな時代を迎えようとしています。現在、iPS細胞を用いた再生医療、ノーベル賞を受賞した薬であるオブジーポなど医療技術はますます発展し、健康的で幸せな日々が過ごせるようになってきました。また、東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博の開催も予定されており、我が国日本というものを世界に発信していく機会が数多くあります。その一方で、自然災害も多く、昨年はここ広島県や岡山県が豪雨災害に見舞われました。未だ被害の爪痕は残っており、一日も早い復興が望まれています。

このような厳しい社会や変化に富む環境において、福山大学で身につけた専門性に裏打ちされた幅広い知識と柔軟な思考、地域活動などで培われた豊かな人間性を社会で発揮され、ご活躍されることを心より祈念しております。

私たち在学生は、先輩方が築かれ受け継いでくれた福山大学の伝統と学風を継承し、三蔵五訓の理念を礎とし、母校のさらなる躍進と発展のために一層の努力をしていきます。

最後になりましたが、皆様のご健康と進まれる前途に幸多からんことを心よりお祈りいたしまして送辞といたします。

平成31年3月20日

平成30年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
人間文化学部 人間文化学科

大松 祐里

やわらかな日差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。本日はこのような素晴らしい式を挙行していただき、卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えたことを大変感謝いたします。

また、お忙しい中、理事長鈴木省三先生、学長松田文子先生をはじめ、諸先生方並びにご来賓の皆様方、保証人の皆様に多数ご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、理事長先生並びに学長先生より訓示と激励のお言葉を賜り、在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただきました。卒業生一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

4年前、私は親元を離れて福山に来ました。1人暮らしではなく、女子学生寮で生活することにしていた私は、期待と不安の中で入寮したの

を今でも覚えています。寮の友人とは家族以上に長い時間を過ごしていました。異なる学部・学科の学生が各地から集まっていたので、それぞれの出身地の話や学部・学科の話など多くのことを語り合い、話が盛り上がるとき笑い声も大きくなり、怒られることもありました。また、学生生活の中で、悩みや不安、辛いことについて話す時もありました。そんな時は真剣に話を聞き、励まし合いながら日々乗り越えてきました。

私は福山大学に入学するまでは周囲に合わせてばかりで、自分の好きなことを好きと言うことができませんでした。しかし、入学して出会った人間文化学科の友人たちのおかげで自分の好きなことを好きと言えるようになりました。大きく自分を変えることができました。

4年間で出会った友人たちとの思い出は私にとってかけがえのないものであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今日、この日をもって私たちはそれぞれの新たな目標を持ち、足を踏み入れたことのない世界に旅立ちます。困難に出会った時には、福山大学で学んだ知識や経験を生かし、諦めることなく立ち向かって試練を乗り越えていきたいと思います。

最後になりましたが、お世話になりました諸先生方並びに職員の方々に改めて御礼申し上げ、福山大学のさらなる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

平成31年3月20日

平成30年度 学生表彰(卒業生・修了生)

【学長賞】

部 門	学 部	学 科	学 年	氏 名
スポーツ	経済学部	経済学科	4年	小寺 一輝
スポーツ	経済学部	経済学科	4年	畠 裕喜
社会活動	経済学部	経済学科	4年	行廣 佑介
社会活動	工学研究科	情報処理工学専攻	2年	浜 信彦

※受賞者については、平成31年3月20日(水)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行いました。

部 門	学 部	学 科	学 年	氏 名
学 業	工学部	情報工学科	4年	武田 祐樹
学 業	工学部	情報工学科	4年	小畠 祐里
学 業	薬学部	薬学科	6年	内野 結花
学 業	薬学部	薬学科	6年	田村 安希
学 業	薬学部	薬学科	6年	徳永 芳美
学 業	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2年	薛 小凡
学 業	工学研究科	情報処理工学専攻	2年	川野 由香子

編集後記

自然豊かな大学キャンパスでは、あちらこちらで小さな春を見かけるようになりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。福山大学での学生生活はいかがでしたか？友人や恩師との出会い、楽しかったことや苦しかったことなど、様々なことが思い返されるのではないでしょうか？本学で学んだことや経験したことを糧とし、社会でのご活躍を心より願っております。

発行 福山大学

編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>